

看護師のチーム医療 -看護師の役割-

青芝映美[†] 七井裕子¹⁾ 安部小夜子²⁾ 石原尚美¹⁾ 第65回国立病院総合医学会
宮本千津子³⁾ 田中富美子⁴⁾ 福光明美⁵⁾ (平成23年10月8日 於岡山)

IRYO Vol. 66 No. 8 (378-381) 2012

要旨

平成22年3月、厚生労働省から発出された「チーム医療の推進に関する検討会報告書」においても、チーム医療は、「医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」とある。

先に実施されたシンポジウム「看護師のチーム医療 -真の看護の専門性とは-」では、実践における具体的な役割や活動、また人材育成の現状と課題等をとおして、チーム医療の中で看護師の果たすべき役割は何かについて議論した。

看護師の業務および看護の特性からいえることは、看護師は患者の最も近い存在であり、患者を全人的に把握した上での支援者であることである。そのためには、看護専門職として自律した責任ある行動がとれることが期待されており、その意味でも人材育成が重要となる。中でもジェネラリストやスペシャリストの育成は重要であり、看護管理者は先見性を持つことが重要である。また、既に基礎教育の段階から医療のコラボレーション教育を導入し、効果をあげている教育施設もある。さらに、臨床現場の第一線で活躍している看護実践者の報告等から、チーム医療の中で看護師が果たすべき役割は、まず、「生活の場」の視点からみた患者情報を発信することといえる。さらに、職種間での情報共有のマネジメントやコーディネーター的役割を果たすことである。

今後、より看護の専門性を発揮していくためには、基礎教育のあり方や臨床教育のあり方を再考するとともに、ジェネラリストの研修制度の整備やスペシャリスト育成の支援がますます重要になってくると考える。

キーワード チーム医療, 看護師, 人材育成, 専門性

国立病院機構呉医療センター, 1) 国立病院機構九州医療センター, 2) 倉敷中央病院, 3) 東京医療保健大学, 4) 国立病院機構熊本医療センター, 5) 国立病院機構岡山医療センター †看護師
(平成24年2月20日受付, 平成24年5月11日受理)

Medical Care by a Team of Nurses : The Role of Nurses

Terumi Aoshiba, Yuko Nanai¹⁾, Sayoko Abe²⁾, Naomi Ishihara¹⁾, Chizuko Miyamoto³⁾, Tomiko Tanaka⁴⁾, and Akemi Fukumitsu⁵⁾, NHO Kure Medical Center, 1) NHO Kyusyu Medical Center, 2) Kurashiki Central Hospital, 3) Tokyo Health Care University, 4) NHO Kumamoto Medical Center, 5) NHO Okayama Medical Center

Key Words: team approach in medical care, nurses, mentoring of talented persons, specialty

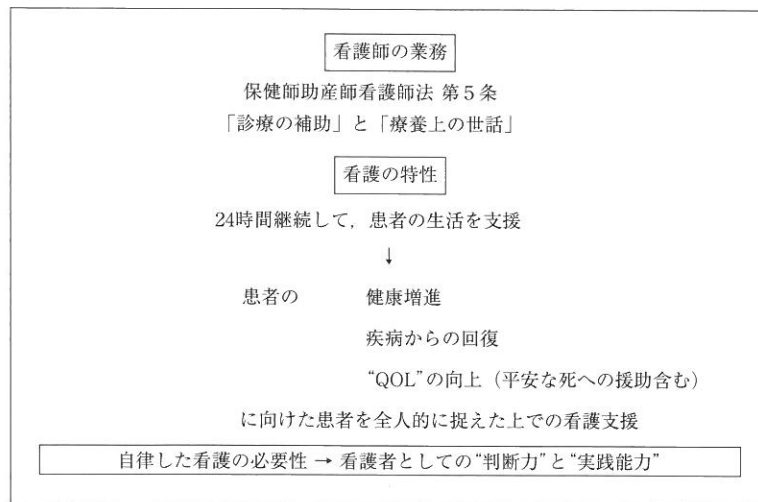


図1 看護師の業務と看護の特性

看護師の業務と看護の特性

看護師の業務は、保健師助産師看護師法第5条に「診療の補助」と「療養上の世話」と規定されている(図1)。また、看護の特性は、24時間継続して患者のベッドサイドで患者の生活を支援することにある。看護は、「健康の増進」、「疾病からの回復」、あるいは「患者のQOLの向上(平安な死への援助含む)」に向けた患者を全人的に捉えた上での支援である。

人材育成の重要性

個々の患者を全人的に把握し、患者個々の生き方を支援していくためには、看護者自身が自律した存在として専門性を発揮していくことが求められる。そのためにはまず、看護者としての“判断力”と“看護実践能力”を高めることが重要となる。

図2は、国立病院機構の看護職員能力開発(研修)体系図である。各病院は、この体系図をベースとして自病院の特性を加味してプログラムを構築して使用している。5年目までは院内でプログラムを作成し人材育成に努力している。また、概ね5年以上の職員については、スペシャリスト・教育者・管理者として進むコースが準備されており、そのための研修も準備されている。今後は、最も多数を占めるジェネラリストの育成プログラムについても強化していくことが求められている。

また、良質な医療を提供していく上ではチーム医療の推進は欠かすことができない。すでに、基礎教

育において、東京医療保健大学は、チーム医療にかかわるカリキュラム構造として「医療のコラボレーション教育」を取り入れている。医療情報学科、医療栄養学科、看護学科の3学科があり、「医療のコラボレーション」を共通科目とし、協働実践演習を行うなど効果も出ているようである。基礎教育の段階から、共通の目標達成を目指し、問題解決のために、自律して協働できる専門職業人を育成することの意義は大きい。

したがって、人材育成において看護管理者は、組織にとって将来どのような専門性が求められるか、どのような人材が適しているかを先見的に判断し、人材開発・育成していく責任がある(図3)。チーム医療において、スペシャリストの育成はもとより、職員の大半を占めるジェネラリストの育成も重要であり、特定領域の看護実践能力を高めるためのシステム作りや環境整備も重要である。また、臨床現場での経験や事例が看護師の成長に大きく影響することから、行為の意味や価値を評価・分析し、自己の専門性を自律的に獲得していくための支援も重要となる。

チーム医療における看護職の役割

チーム医療の中で看護師が果たすべき役割は、まず、生活者としての患者の病態を「生活の場」の視点からアセスメントし、タイムリーに必要な情報を発信することである(図4)。また、職種間の情報共有のコーディネーター的役割があり、パートナーシップを形成し、良好なコミュニケーションを図り、

看護職員の能力開発(研修)体系図

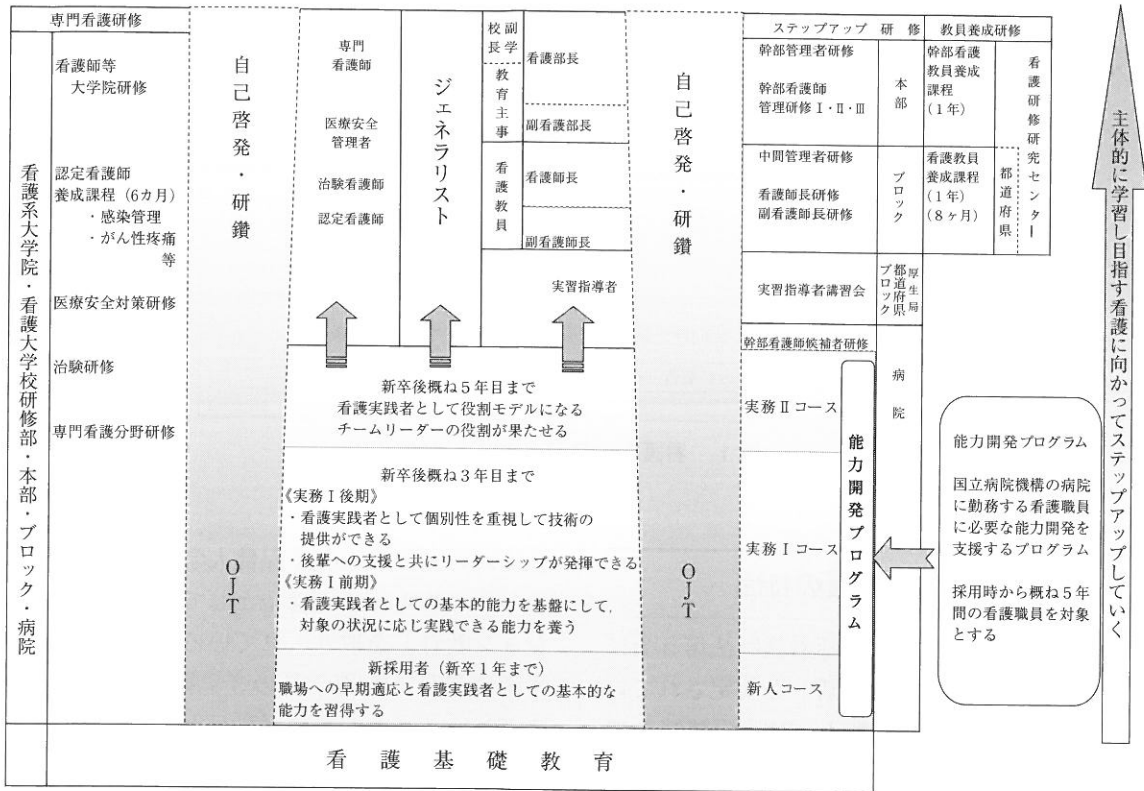


図2 NHOの看護職員能力開発(研修)体系図

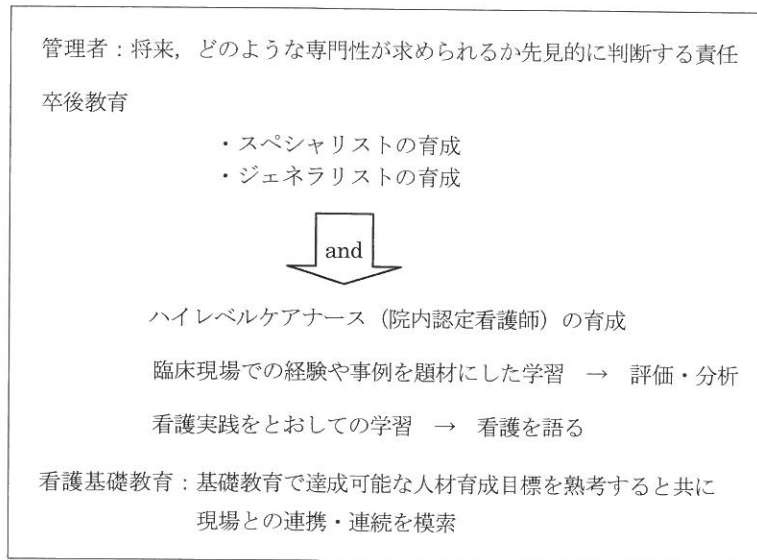


図3 今後に向けた人材育成

信頼関係を構築して協働を促進することが重要となる。

その役割を中心的に担う者として、専門看護師・認定看護師がリーダーシップを発揮し、その分野における専門的知識・技術を駆使した看護実践や指導・相談、他職種とのコーディネーターとして、良

質な医療の提供に大きく貢献している。

ま と め

看護師はチーム医療の中で、常に生活者としての患者支援の立場から、安全で適正な医療提供に向け

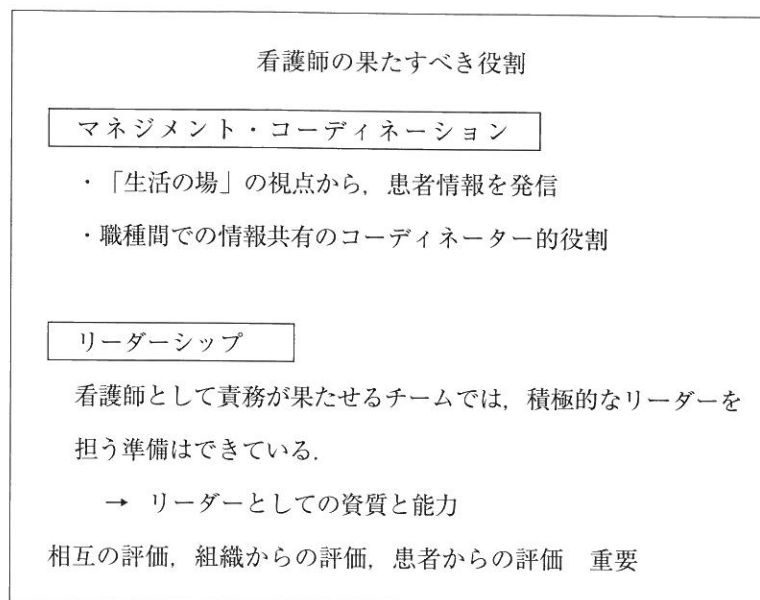


図4 チーム医療における看護師の役割

た役割を果たしていくことが期待されている。その役割を果たすためにも、看護の専門性を発揮し、他職種と協働できる高い調整能力をもつ看護専門職の育成は急務である。そのためには、基礎教育のあり方や臨床教育のあり方を再考するとともに、ジェネラリストの研修制度の整備や認定看護師・専門看護師等のスペシャリスト育成が、今後ますます重要に

なってくると考える。

〈本論文は第65回国立病院総合医学会 シンポジウム「チーム医療を効果的に実践するための職種連携 -権限と責務-」において「看護師のチーム医療 -看護師の役割-」として発表した内容に加筆したものである。〉